

A blue starburst badge with the word "NEW" in white capital letters.

NEW

V4.2 一部の機能が強化されました！

ConMas Designer

EXCELへのDesigner定義の出力機能

EXCEL定義ファイルの再取込み機能

操作説明書

Designer
Ver.4.2 強化版

2014.09.19

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2013-02-18	V2.2	--	初版を発行しました。
2013-03-14	V2.3	--	EXCEL取込の機能強化と再取込みに関して追記。
2013-04-23	V3.0	--	EXCEL取込の機能強化に関して追記。
		--	クラスターindexの採番し直し機能に関して記述。
2014-06-30	V4.2	--	動作環境にEXCEL2013への対応を追加。
		--	「ConMasiReporterSetting」シートのxml定義を更新。
		--	アクションクラスターの再取込み機能を追加。
2014-09-19	V4.2強化版	P25-26	EXCEL定義出力時の計算式出力に関して追記。

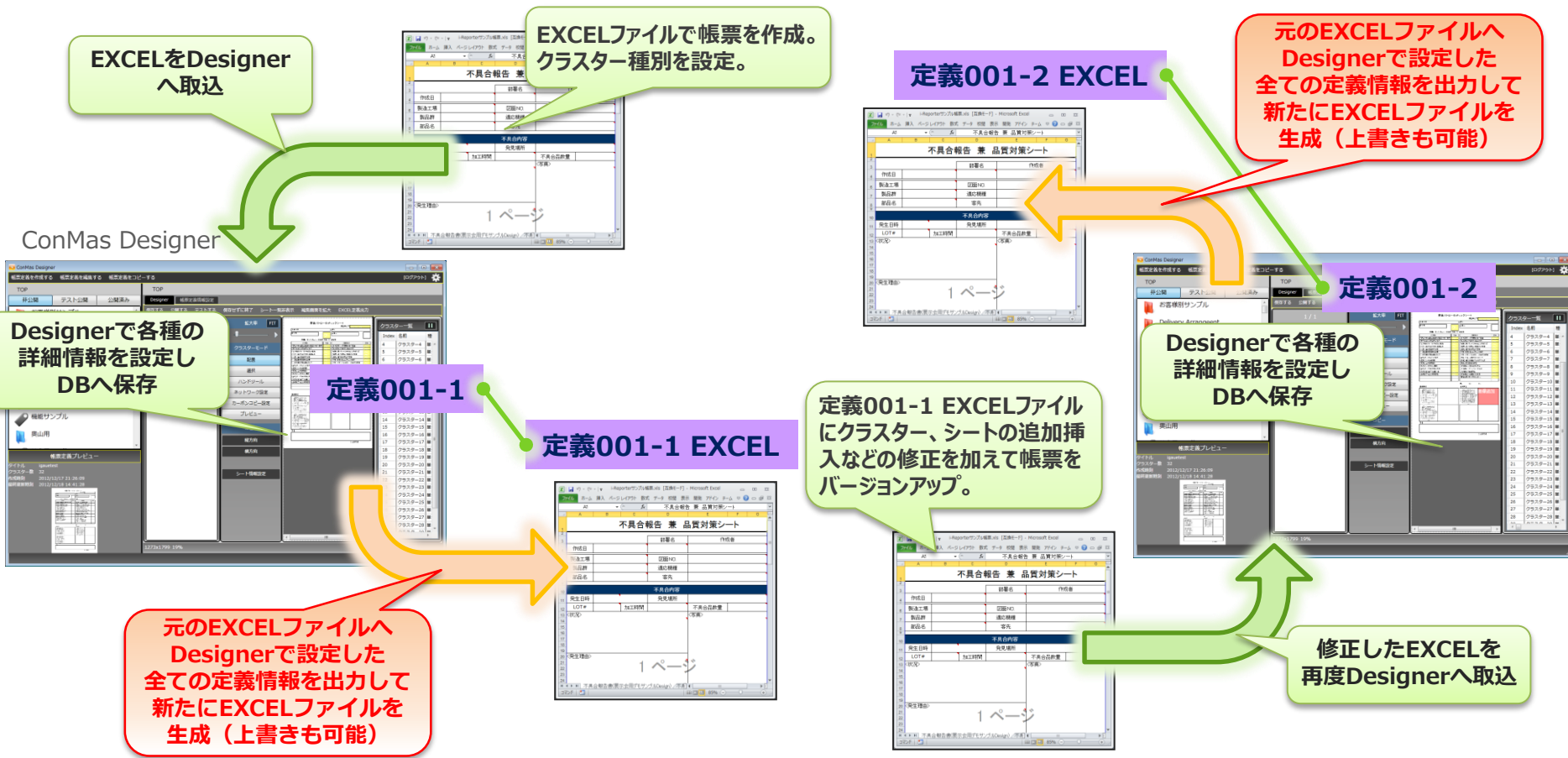
目次

- 1. EXCELへのDesigner定義の出力及び再取込み機能とは
- 2. EXCELへのDesigner定義の出力
- 3. EXCELへのDesigner定義の出力に関する注意点
- 4. EXCEL定義ファイルに出力されるクラスター情報
- 5. EXCEL定義ファイルに出力されるクラスター以外の情報
- 6. DesignerへのEXCEL定義ファイルの再取込みの方法
- 7. DesignerへのEXCEL定義ファイル再取込み
- 8. Designer上で追加したアクションクラスターの再取込み
- 9. EXCEL定義出力時の計算式出力

1. EXCELへのDesigner定義の出力及び再取込みとは

定義元EXCELファイルをDesignerへ取込み、Designerにおいて作成編集した全ての帳票定義の情報を、サーバーに保存された定義元EXCELファイルに挿入して、定義元EXCELとして再出力する、もしくは新たな定義EXCELファイルとして出力する機能です。

Designerで編集した帳票定義内の設定情報を全てEXCELファイルに出力するため、定義元のEXCELファイルへのクラスターの追加やレイアウト変更、シートの挿入、入替、削除などの修正を行う場合にも、新しいクラスターの設定のみ行うだけで前に設定した定義情報をそのまま使用できる便利な機能です。



2. EXCELへのDesigner定義情報の出力

- EXCELから作成した帳票定義をDesigner編集画面に展開すると、画面上部に「EXCELへのDesigner定義の出力」というメニューが表示されます。「EXCELへのDesigner定義の出力」をクリックするとダイアログが表示されますので、出力する帳票定義EXCELファイルの名称と出力先を指定して[保存]をクリックします。

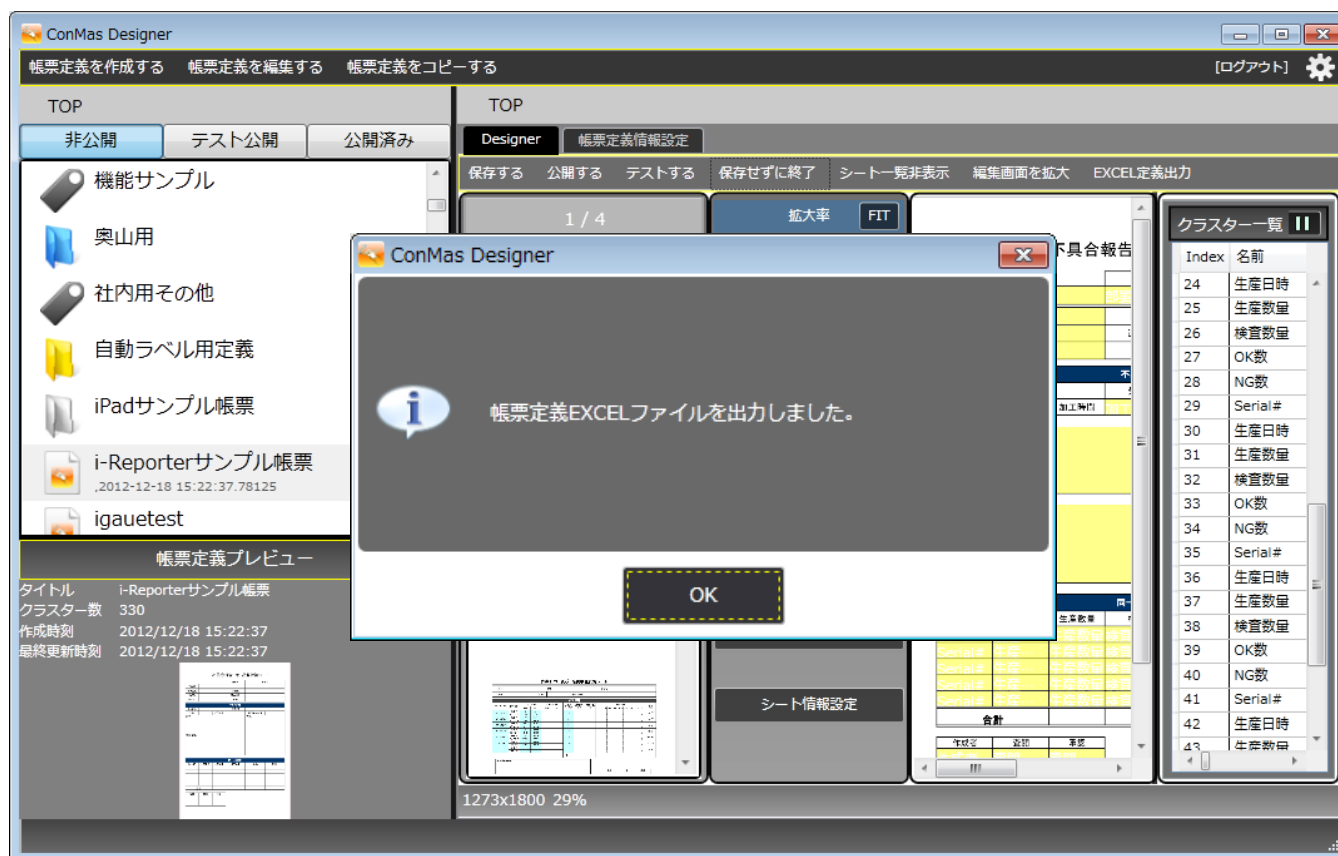
The screenshot shows the Designer software interface. At the top, there is a menu bar with options: 保存する, 公開する, テストする, 保存せずに終了, シート一覧非表示, 編集画面を拡大, and EXCEL定義出力. A callout box points to the 'EXCEL定義出力' menu with the text: ① 「EXCELへのDesigner定義の出力」をクリック。 ※EXCELファイル以外から作成した帳票定義の場合は表示されません。 Below the menu bar, there is a sidebar with various tools and settings, including 選択, ハンドツール, ネットワーク設定, カーボンコピー設定, プレビュー, コピー, 縦方向, 横方向, and シート情報設定. In the center, there is a preview area showing a report layout. On the right, there is a 'クラスター一覧' (Cluster List) table with columns 'Index' and '名前'. The table contains the following data:

Index	名前
24	生産日時
25	生産数量
26	検査数量
27	OK数

Below the preview area, there is a '保存先のファイルを選択してください' (Select a file to save to) dialog box. The dialog shows the file name 'I-Reporterサンプル帳票.xls' and the file type '(*.xls)'. The '保存(S)' (Save) button is highlighted with a callout box containing the text: ② 帳票定義EXCELファイルの名称と出力先を指定して[保存]をクリック。

2. EXCELへのDesigner定義情報の出力

- 帳票定義EXCELファイルの出力が完了すると下記のメッセージが表示されます。
(帳票定義EXCELファイルの出力には時間がかかる場合があります。)



3. EXCELへのDesigner定義の出力に関する注意点

- 本機能の動作環境は以下の通りです。

動作環境

- 本機能をご利用の際には、DesignerがインストールされたPC環境に下記のいずれかのOffice製品のインストールが必要となります。

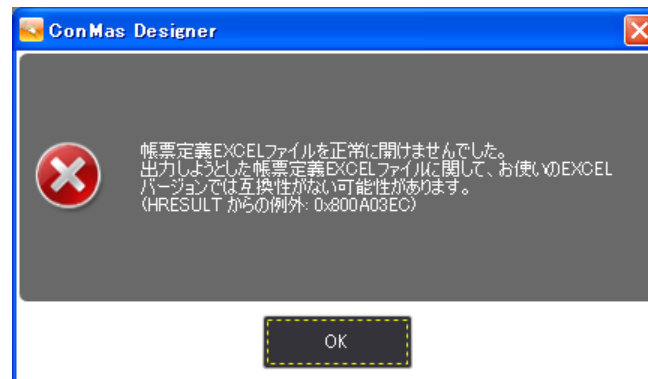
V4.2 Microsoft Excel 2013 **V4.2での新機能**

- Microsoft Excel 2010
- Microsoft Excel 2007 (Service Pack 2 以降)

- ※Excel 2003以前のOffice製品は動作対象外となります。
- ※Office製品はWindows Updateを実施の上、最新の状態でご利用下さい。

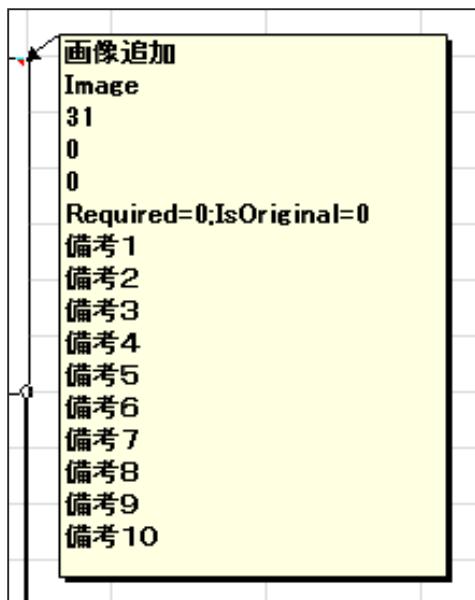
- EXCELファイルの互換性の問題によって、帳票定義EXCELファイルが出力できない場合があります。

(例) EXCEL2010で作成した帳票定義に関して、EXCEL2007がインストールされた別環境のDesignerでEXCELへのDesigner定義の出力した場合、このEXCEL2010で作成したファイル内にEXCEL2007との互換性がないオブジェクト等が含まれていると、帳票定義EXCELファイルの出力に失敗します。



4. EXCEL定義ファイルに出力されるクラスター情報

- 各クラスター情報の設定は、出力した帳票定義EXCELファイルの対応するセルのコメント内に記述されています。セルのコメントに記述されたクラスター情報の定義は以下のとおりです。



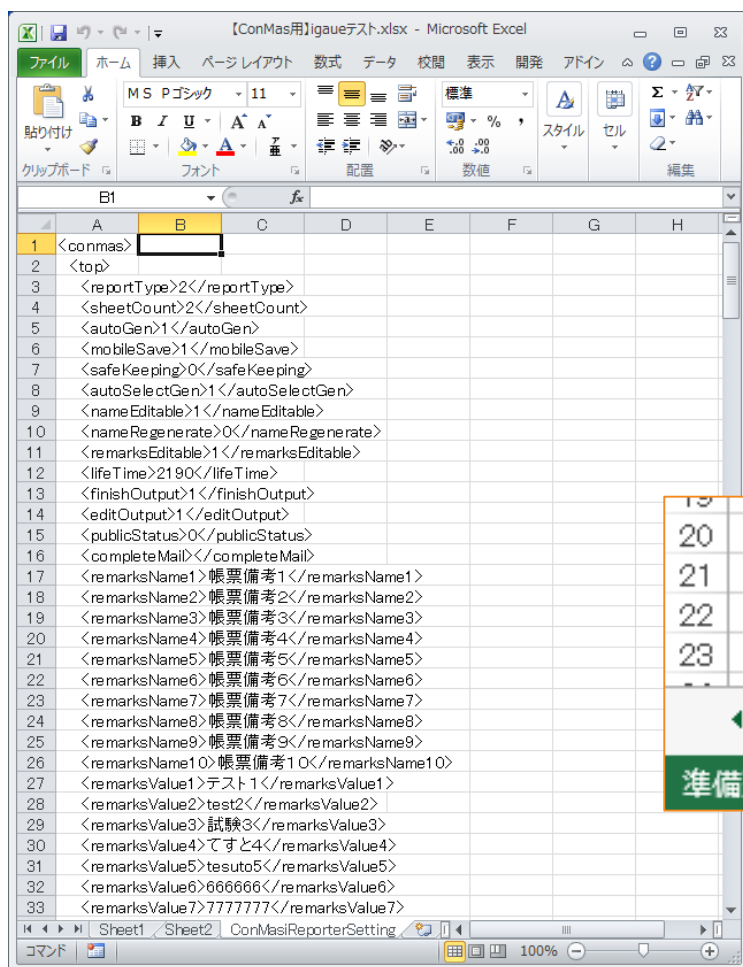
- 1行目：クラスター名称
- 2行目：クラスター種別
- 3行目：クラスターindex（同一シート内で一意制約）
- 4行目：読み取り専用設定（1:読み取り専用、0:編集可能）
- 5行目：外部連携設定（1:外部連携する、0:しない）
- 6行目：入力パラメーター情報
- 7行目：クラスター備考1
- 8行目：クラスター備考2
- 9行目：クラスター備考3
- 10行目：クラスター備考4
- 11行目：クラスター備考5
- 12行目：クラスター備考6
- 13行目：クラスター備考7
- 14行目：クラスター備考8
- 15行目：クラスター備考9
- 16行目：クラスター備考10

※6行目の入力パラメーター情報は長くなる場合に折り返し表示されます。
※Designer上で何も設定されなかった項目は空白行になります。

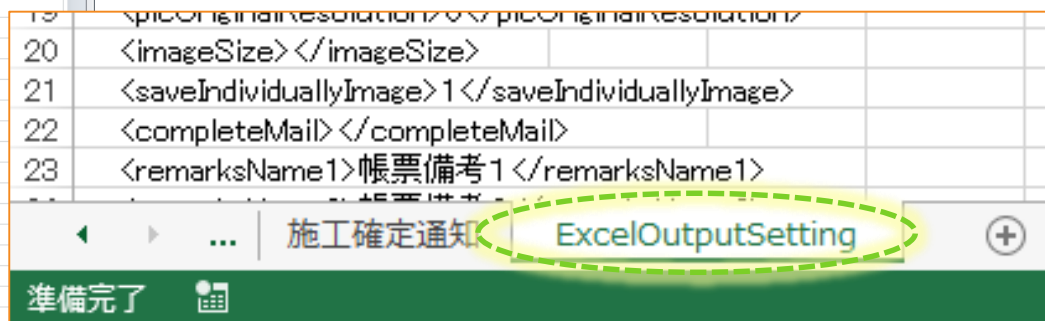
- 各セルのコメント編集を行うことで、手動にてEXCELファイル上のクラスター情報を編集することは可能ですが、クラスターindexや入力パラメーター情報に誤りが生じた場合、Designer取込み時にエラーとなります。基本的には、アドイン画面を使用するかDesignerに取込んだ後で編集を行って下さい。コメント編集を手動で行う際には十分にご注意下さい。

5. EXCEL定義ファイルに出力されるクラスター以外の情報

- EXCEL定義出力したEXCELファイルには「ExcelOutputSetting」シートが新規追加されます。クラスター以外の各種設定情報はこの「ExcelOutputSetting」シート内にxml形式で記述されています。



- 「ExcelOutputSetting」シートは帳票定義情報の保持のため、シート名称の変更はしないで下さい。また、同一のシート名称も使用しないようお願い致します。
- クラスター以外の各種設定情報を削除してクラスター情報のみをDesignerへ取込したい場合は「ExcelOutputSetting」シートを削除した上でDesignerへ取込みます。



5. EXCEL定義ファイルに出力されるクラスター以外の情報

- 「ExcelOutputSetting」シートには以下の帳票定義情報がxml形式で記述されます。

V4.2で定義情報更新（追加された情報は赤字で表示）

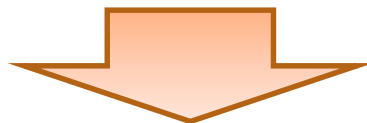
conmas	名称	説明
conmas		
top	帳票定義TOP情報	
reportType	帳票定義種別	1:シート、2:セット、3:ブック
sheetCount	シート数	帳票定義のシート枚数
autoGen	自動帳票作成	0:しない、1:する
mobileSave	タブレットでの帳票定義保存	0:残さない、1:残す
safeKeeping	サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する	0:保管せずに削除する、1:保管する
autoSelectGen	選択値自動取得	0:しない、1:する
nameEditable	タブレットでの帳票名編集可否	0:編集不可、1:編集可能
nameRegenerate	帳票名保存時再生成	0:しない、1:する
remarksEditable	タブレットで備考情報の編集	0:編集不可、1:編集可能
lifeTime	タブレットでの帳票保持期間	0:無期限、1~: iPad内に保持してから期限切れになるまでの時間（単位：分）
finishOutput	帳票完了時のファイルの自動出力	0:しない、1:する
editOutput	帳票編集時のファイルの自動出力	0:しない、1:する
publicStatus	公開ステータス	0:非公開、1:テスト、2:公開
picOriginalResolution	Pick画像設定	0:表示されている画像で（Default） 1:本物の解像度から切り取る 2:カスタム指定
imageSize	Pick画像設定	カスタム指定した際の画像サイズ（ピクセル）
saveIndividuallyImage	FreeDrawの個別画像 サーバー送信設定	0:サーバーに送らない 1:サーバーに送る（Default）
completeMail	完了メールテンプレート	完了通知メールのテンプレート指定
remarksName1 ~ remarksName10	TOP備考名称1 ~ TOP備考名称10	TOP備考名称1~10
remarksValue1 ~ remarksValue10	TOP備考情報1 ~ TOP備考情報10	TOP備考情報1~10



※次ページへ続きます。

5. EXCEL定義ファイルに出力されるクラスター以外の情報

conmas	名称	説明
canSendMailAsAttachment	画像/PDFメール添付送信可否	0:サーバーに送らない 1:サーバーに送る (Default)
canOpenAsPdf	PDFとして開く可否	0:不可 (既定値) 1:可
saveLocalCameraImage	カメラロール強制保存設定	0:しない (既定値) 1:する
cooperationTable	連携用テーブルの作成	0:作成しない、1:作成する
isReportCopy	帳票コピー機能の使用	0:使用しない (既定値) 、1:使用する
mobileEditType	帳票編集タイプ	0:選択 (既定) 、1:リスト編集、2 : 帳票編集
useNetworkAutoInputStart	ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示	0:しない、1:する(規定値)
existReportMaster	帳票別マスター情報存在有無	0:無 (既定値) 1:有
useApplicantLock	申請ロック機能の有効・無効設定	0:無効 (既定) 、1:有効
useInputHistory	クラスター入力履歴設定	0:無効 (既定) 、1:画像以外は取得、2 : 全クラスター取得する
useInitInputJudge	初期入力値変更判定設定	0:無効 (既定) 、1:有効 ※ただし、useInputChangeJudgingが0の場合は0
useInitInputJudgeParameters		
format	設定フォーマット	
color	クラスター履歴設定 クラスター枠の判定色	RGB カンマ区切り
serverVersion	サーバーバージョン情報	
nameParts		
part	帳票名称自動作成設定	帳票作成時に生成する帳票名の構成
partId	パーツID	システム連番 (1~
type	種別	帳票名構成/パーツ種別
value	エレメント名、シートNO,クラスターID、リテラル値	



※次ページへ続きます。

5. EXCEL定義ファイルに出力されるクラスター以外の情報

conmas	名称	説明
networks		
network	ネットワーク設定	クラスター間のネットワーク設定
prevSheetNo	先行シートNo.	
prevClusterId	先行クラスター I D	
nextSheetNo	後続シートNo.	
nextClusterId	後続クラスター I D	
nextAutoInputStart	後続クラスターのインプット部品を自動表示	0:しない、1:する(規定値)
relation	大小関係	Greater、GreaterEqual、Less、LessEqual、Equal、NotEqual
skip	飛ばし	0:OK、1:警告のみ、2:入力不可
requiredValue	条件付き必須	後続を必須とする選択要素
valueLinks		
valueLink	バリューリンク設定	
parentValue	先行クラスター選択値	先行クラスターの選択値
selectValues	後続クラスター選択要素	後続クラスターの選択要素
originalSheetNames		
originalSheetName	帳票名称自動作成設定	帳票作成時に生成する帳票名の構成
sheetNo	オリジナルシートNo.	DesignerにてEXCEL定義出力した段階でのシートNo.
sheetName	オリジナルシート名称	DesignerにてEXCEL定義出力した段階でのシート名称
sheets		
sheet	シート単位の定義情報	
sheetNo	シートNo.	定義/帳票内のページ番号
autoSelectGen	選択値自動取得対象	対象外:0、対象:1
copyDisable	シートコピー不可設定	0:シートコピー可 (Default) 1:シートコピー不可
remarksName1 ~	シート備考名称 1 ~	シート備考名称 1 ~ 1 0
remarksName10	シート備考名称 1 0	
remarksValue1 ~	シート備考情報 1 ~	シート備考情報 1 ~ 1 0
remarksValue10	シート備考情報 1 0	



※次ページへ続きます。

5. EXCEL定義ファイルに出力されるクラスター以外の情報

conmas	名称	説明	メモ
clusters		カーボンコピー設定を保持する目的で一部クラスター単位定義を保持します。	
cluster	カーボンコピー元のクラスター情報	カーボンコピー情報はクラスター単位の情報として保持しています。	
sheetNo	シートNo.	カーボンコピー元のクラスター情報	
clusterId	クラスターID	カーボンコピー元のクラスター情報	
mobileDisplay	iPhoneで表示するかどうか	0:使用しない、1:使用する(Default)	
mobileListDisplayNo	iPhoneリスト形式編集時の表示順	0始まりのint型	
cooperationCluster	クラスター単位での連携用テーブル設定		
carbonCopy			
targetCluster	カーボンコピー先のクラスター情報		
sheetNo	シートNo.	カーボンコピー先のクラスター情報	
clusterId	クラスターID	カーボンコピー先のクラスター情報	
userCustomMaster	ユーザーカスタマスタム設定		
masterTableId	ユーザーカスタムマスターテーブルID		
targetCluster	コピー先クラスター		
sheetNo	シートNO		
clusterId	クラスターID		
targetField	カスタムテーブルフィールド	フィールド番号 (Field1=1)	
targetFieldName	カスタムテーブルフィールド名称		
targetFieldType	カスタムテーブルフィールドタイプ	EXCEL定義出力/取込みでのみ使用。よって定義XMLには無いエレメントなので注意	
reportCopy	帳票コピー設定		
clear	コピー時クリア	クリアしない:0、クリアする:1	帳票コピー時にクラスターをクリアする
targetCluster	コピー先クラスター		コピー先は1つだけ指定可能
sheetNo	シートNO		
clusterId	クラスターID		
dividedCopy	QRコード分割コピー		QRコードクラスタのみで使用
delimiterType	区切り文字タイプ	カンマ区切り:0、タブ区切り:1、バイト数指定区切り:2 (bytes項目必須)	
encodeType	エンコード	SJIS:0、UTF8:1	delimiterType = 2の時だけ指定する
targetCluster	コピー先クラスター		
sheetNo	シートNO		
clusterId	クラスターID		
startByte	開始位置		
bytes	バイト数		delimiterType = 2の時だけ指定する
buttonImage	ボタンのデザイン画像データ	アクションクラスターのボタンデザイン	
buttonImageName	ボタンのデザイン画像ファイル名	アクションクラスターのボタンデザイン	
management	管理情報	Managerで管理する情報	Designer編集時に保持するだけ

以上となります。

6. DesignerへのEXCEL定義ファイルの再取込みの方法

- Designer定義が出力されたEXCELファイルを再度Designerへ取込む際は、次の2通りの方法があります。

- (1) 新規の帳票定義を作成するために再取込する。
- (2) 既存の帳票定義に対して再取込したEXCEL定義ファイルを上書き更新する。

(1) 新規の帳票定義を作成するために再取込する場合

Designer定義を出力したEXCELファイルを、新規帳票定義作成と同様の方法でDesignerに取込みます。

①「帳票定義を作成する」をクリック。

②「EXCELファイルから作成する」をクリック。

③Designer定義を出力したEXCELファイルを選択。

④新規の帳票定義を作成。

名前	更新日時	種類
日付自動設定帳票.xlsx	2012/09/18 13:14	Micro
PDFViewerCtrlに関する問合せ.xlsx	2012/08/30 16:49	Micro
PDFViewerCtrlに関する問合せ.xlsx	2012/08/27 16:52	Micro
EXCELタイトル入力 (L_F設計).xlsx	2012/08/06 20:07	Micro
ページの挿入・削除.xlsx	2012/07/27 18:40	Micro
バリエーションリンクテスト帳票.xlsx	2012/07/11 10:52	Micro
デザイナーレイアウト変更表.xlsx	2012/06/28 11:30	Micro

6. DesignerへのEXCEL定義ファイルの再取込みの方法

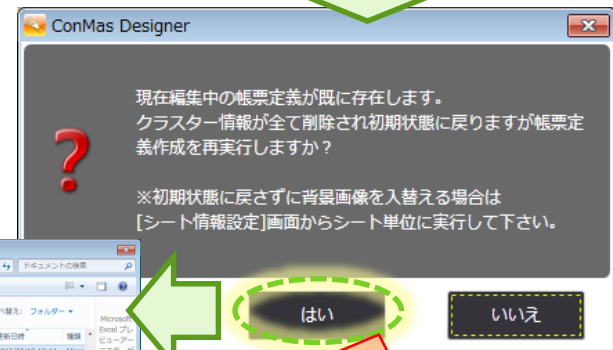
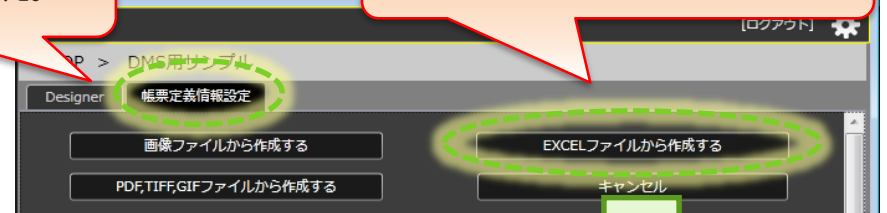
(2) 既存の帳票定義に対して再取込したEXCEL定義ファイルを上書き更新する場合

上書き更新する既存の帳票定義をDesigner編集画面に展開した状態で、「帳票定義情報設定」タブ画面に切替え、「EXCELファイルから作成する」ボタンをクリックします。この時、下画像のような警告画面が表示されます。「はい」を選択して続行すると、EXCELファイルの選択ダイアログが表示されます。ここでDesigner定義を出力したEXCELファイルを選択すると、既存定義を上書きして、取込んだEXCELファイルの内容が編集画面上に展開されます。このまま帳票定義の保存を行えば再取込後の帳票定義が、リビジョンアップして保存されます。

① 既存の帳票定義を編集画面上に展開しておきます。

② 「帳票定義情報設定」タブをクリックして画面切替え。

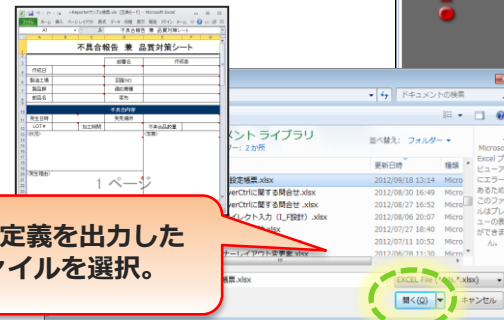
③ 「EXCELファイルから作成する」をクリック。



⑥ 既存の帳票定義を置き換え。

⑤ Designer定義を出力したEXCELファイルを選択。

④ 警告画面が表示されます。「はい」で処理を続行。「いいえ」でキャンセルします。



7. DesignerへのEXCEL定義ファイル再取込み

・Designerから出力したEXCEL定義ファイルのシートの挿入・入替・削除

EXCEL定義出力後にEXCELファイルのシートの挿入・入替・削除を行っても、Designerへの再取込時に、前にDesignerで設定した計算式情報、ネットワーク情報、カーボンコピー情報などの設定情報も、そのまま、整合性を維持したまま再度の取り込みが可能になり格段に便利になりました。

※次ページのクラスターindex番号の採番し直しを行わなくても、シートの挿入・入替を行っても、既存のクラスターに設定された全ての情報は維持されます。クラスターindex番号の再採番を行うと既存のクラスターも再採番して全ての情報は維持されます。

※ EXCELファイルのシート名称を内部処理で使用しているため、名称を変更したシートは新規追加されたものであると判定されます。新規追加されたシートは、ネットワーク情報やカーボンコピー情報などの設定情報が未設定状態であると扱われますのでご注意ください。

＜シートやクラスター情報（を含むセル）の削除時の注意＞

EXCEL定義出力後のEXCELファイルに対して、シートやクラスター情報（を含むセル）を削除した場合、削除した情報を含む、計算式情報、ネットワーク情報、カーボンコピー情報などの内部情報の参照先は不正となります。

- ・**ネットワーク情報、カーボンコピー情報が不正となった場合** → 情報自体を作成しません。
- ・**計算式、自動帳票名称作成設定の指定が不正となった場合** → 不正となった情報を「#REF」に変換します。
 - ※計算式に「#REF」が含まれる場合、テスト公開保存、または、公開保存の際に、エラーとなります。
 - (例) 計算式 = **S1C10+S2C10** の時、シートNo.2のシートを削除して参照先が不正となった場合、Designerへ再取込時には、計算式 = **S1C10+#REF** という表示に変換されます。

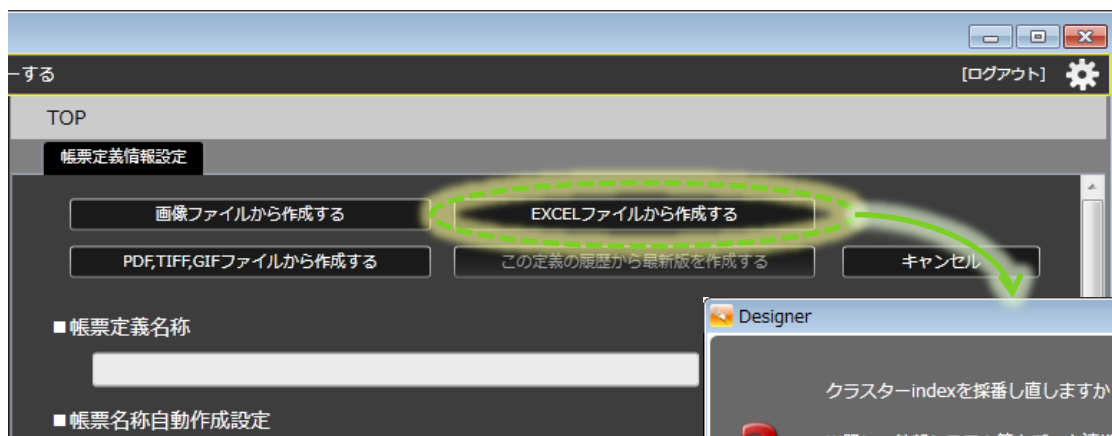
7. DesignerへのEXCEL定義ファイル再取込み

・Designer再取込時のクラスターindex番号の採番し直し機能

一度EXCEL定義出力したEXCELファイルをDesignerに再取込みする際、クラスターindexを採番し直すかどうかの確認メッセージが表示されます。

新規帳票を作成する場合など、「はい」を選択すると、クラスターindex番号を採番し直してEXCELファイルを取込みます。帳票の途中で新しくクラスターを追加した場合などに、再度きれいに**クラスターindex番号を振りなおすことができます**。この時、既に設定されているクラスター間のネットワーク情報、カーボンコピー情報、計算式情報なども全て新しく採番したクラスターindex番号に自動で変更してくれます。

「いいえ」を選択した場合はクラスターindexをそのまま引き継いでEXCELファイルを取込みます。

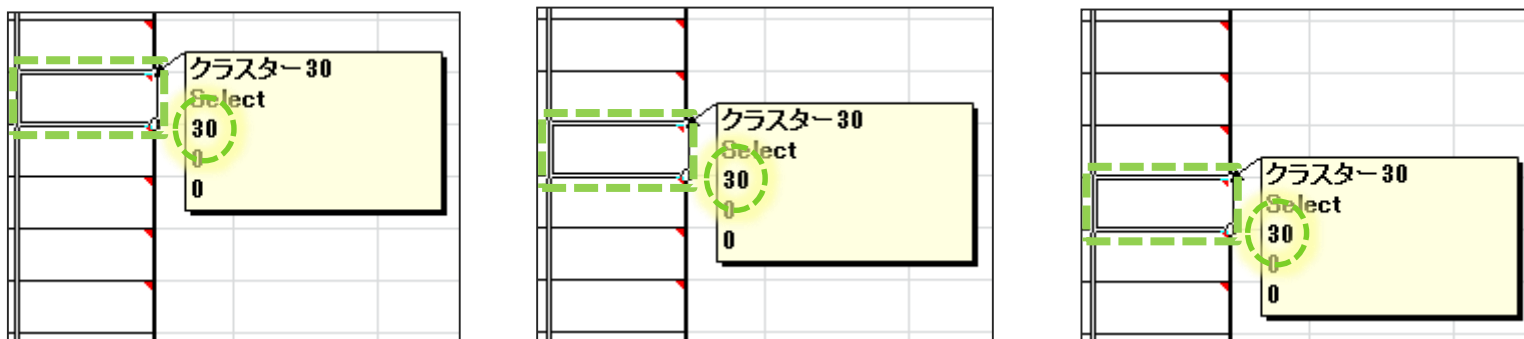


Designerから出力されたExcelファイルを再度Designerに取り込む際にはこのメッセージが必ず表示されます。初回のEXCELファイル取込時にはこの確認メッセージは表示されません。

7. DesignerへのEXCEL定義ファイル再取込み

- クラスター情報が記述されたセルをコピー＆ペーストすることで、同一定義のクラスターを複数作成しようとした場合、セルコメント内のクラスターindexも同一値がコピーされてしまう点にご注意下さい。
クラスターindexは同一シート内で一意制約があるため、クラスターindexに重複がある状態でそのままDesignerへ再取込するとエラーとなります。ここで、「クラスターindex番号の採番し直し機能」を実行頂くことで、クラスターindexの重複が解消され、元のEXCELファイルの修正を行うことなくDesignerへ再取込みすることが出来ますが、クラスターindexを採番し直したくない場合には注意してください。

(例) クラスターindex=30 のクラスター情報のセルをコピー＆ペーストした場合



- クラスターindexの重複を避けて同一定義のクラスターを複数作成する場合は以下(1)(2)のいずれかの方法で作成して下さい。
 - (1) セルのコピー後にアドイン画面にて**クラスターindexを空白にした状態で設定**する。
続けてセルコピーをする場合はこのクラスターindexを空白にしたものをコピーしていく。
※クラスターindexが空白行（設定されていない）の場合は、
Designerへ取込む際にクラスターindexが自動採番されます。これを利用した方法となります。
 - (2) Designerへ再取込を行った後、Designer上で設定コピー＆設定ペーストを用いてクラスター情報をコピーする。

7. DesignerへのEXCEL定義ファイル再取込み

・クラスターindex番号の採番し直しの実行例

下図のようにEXCEL定義出力したEXCELファイルに対してクラスターを新規挿入した場合、Designer再取込み時にクラスターindexの採番し直しを実行した場合と実行しなかった場合とでは以下のような結果になります。

数値	数値 Index = 0	数値	数値 Index = 1
時刻	時刻 Index = 2	時刻	時刻 Index = 3

クラスターindex 2 から 3 へのネットワーク設定済の状態のところに



数値	数値 Index = 0	数値	数値 Index = 1
数値選択	数値選択	数値選択	数値選択
時刻	時刻 Index = 2	時刻	時刻 Index = 3

クラスターを2つ挿入

・採番し直しを実行した場合

数値	数値 Index = 0	数値	数値 Index = 1
数値選択	数値選択 Index = 2	数値選択	数値選択 Index = 3
時刻	時刻 Index = 4	時刻	時刻 Index = 5

挿入したクラスター2つも含めて全てのクラスターのindexを再採番します。

クラスターindex 4 から 5 へのネットワーク設定に自動変換してくれます。

・採番し直しを実行しない場合

数値	数値 Index = 0	数値	数値 Index = 1
数値選択	数値選択 Index = 4	数値選択	数値選択 Index = 5
時刻	時刻 Index = 2	時刻	時刻 Index = 3

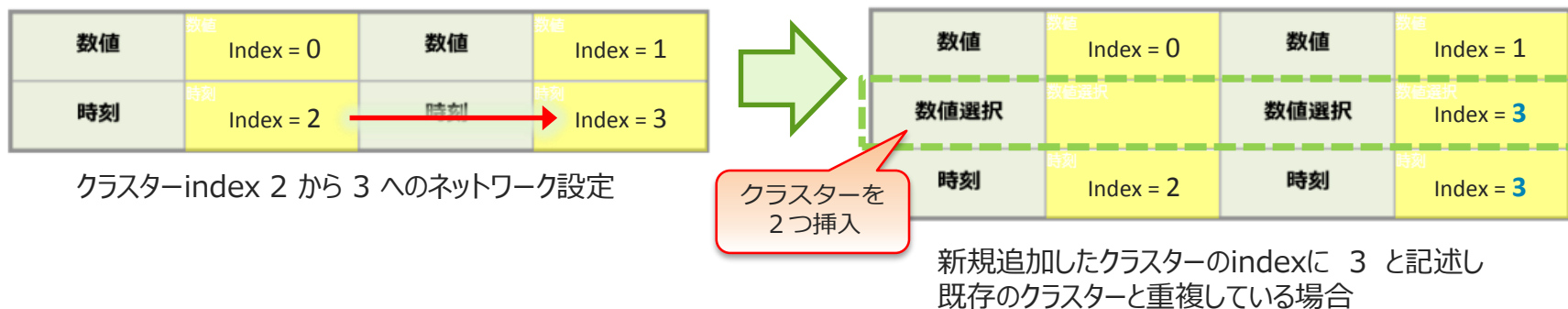
挿入したクラスター2つには、それぞれ既存index=3の次から4,5で採番します。

クラスターindex 2 から 3 へのネットワーク設定済のまま

7. DesignerへのEXCEL定義ファイル再取込み

・【注意】クラスターindexを重複して設定してしまった場合

EXCELファイルのDesigner再取込み時に、クラスターindexに重複が発生していた場合、クラスターindexの採番し直しを実行したとしても、ネットワーク情報などの内部情報が正常に反映されない場合があります。下記にその具体例を示します。



ここで、クラスターindex番号の採番し直しを実行した場合、以下のように各クラスターのindexが調整されます。



7. DesignerへのEXCEL定義ファイル再取込み

次に、クラスターindexを採番し直した結果に応じて、ネットワーク設定も自動調整を行います。ここで元のクラスターindexに重複があったために、以下の問題が発生します。

元々のネットワーク設定

数値	数値	数値	数値
	Index = 0		Index = 1
時刻	時刻	時刻	時刻
	Index = 2		Index = 3

元々のネットワーク情報

index 2 から index 3 へのネットワーク設定

クラスターindex採番し直し後のネットワーク設定

数値	数値	数値	数値
	Index = 0		Index = 1
数値選択	数値選択	数値選択	数値選択
	Index = 2		Index = 3 → 3
時刻	時刻	時刻	時刻
	Index = 2 → 4		Index = 3 → 5

クラスターindex採番し直し後のネットワーク情報

index 2 → 4 から { index 3 → 3
index 3 → 5 } へのネットワーク設定

クラスターindex採番し直し後のネットワーク情報の調整

ネットワーク設定の
クラスターindex2を
クラスターindex4へ変更

クラスターindex 2 から クラスターindex 3
↓ ↓
クラスターindex 4 から クラスターindex ?

クラスターindex3に関しては、
index=3を使用するか
index=5に変更するか
2通りのパターンが発生し
1つに特定できなくなります。

このように、クラスターindexの重複により元々の内部情報の特定が不可能となった場合は、処理上、最初に処理された方を正としてネットワーク情報などの内部情報を自動調整しますのでご注意ください。また、クラスターindexの重複にご注意頂きEXCELファイルの編集をお願い致します。

8. Designer上で追加したアクションクラスターの再取込み

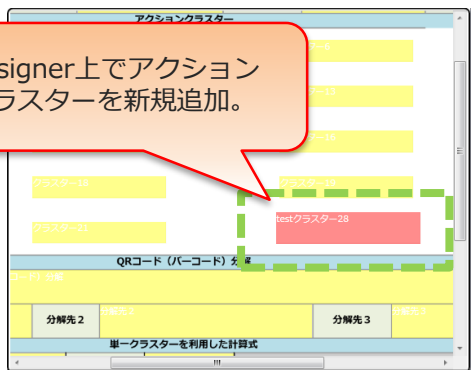
通常、EXCEL取込み後にDesigner上で新規追加したクラスターに関しては、EXCELのセル位置情報を持たないため、EXCEL定義出力時の出力対象外となります。

アクションクラスターに関しては、ボタンとしての役割を持つクラスター種別であり、Designer上で作成する事が多く、また、EXCELシート上に存在する必要性も薄いクラスター種別です。

そのため、アクションクラスターに限り、Designer上で新規追加したとしてもEXCEL定義出力時にEXCELファイル内へクラスター情報を保持することを可能としました。

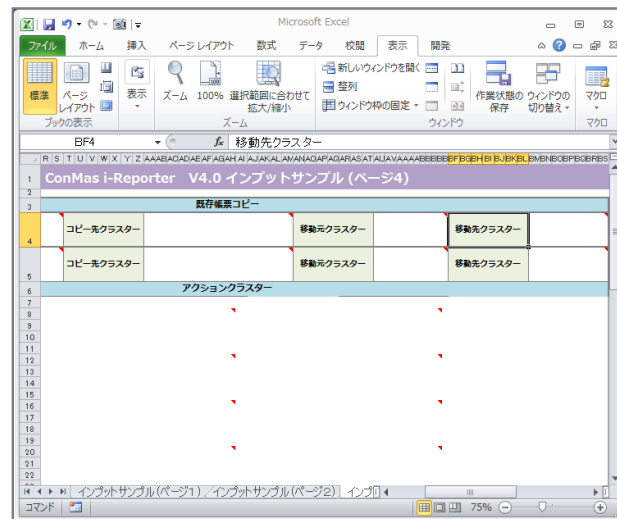
Designerの編集画面

Designer上でアクションクラスターを新規追加。



EXCEL定義出力

出力したEXCELファイル



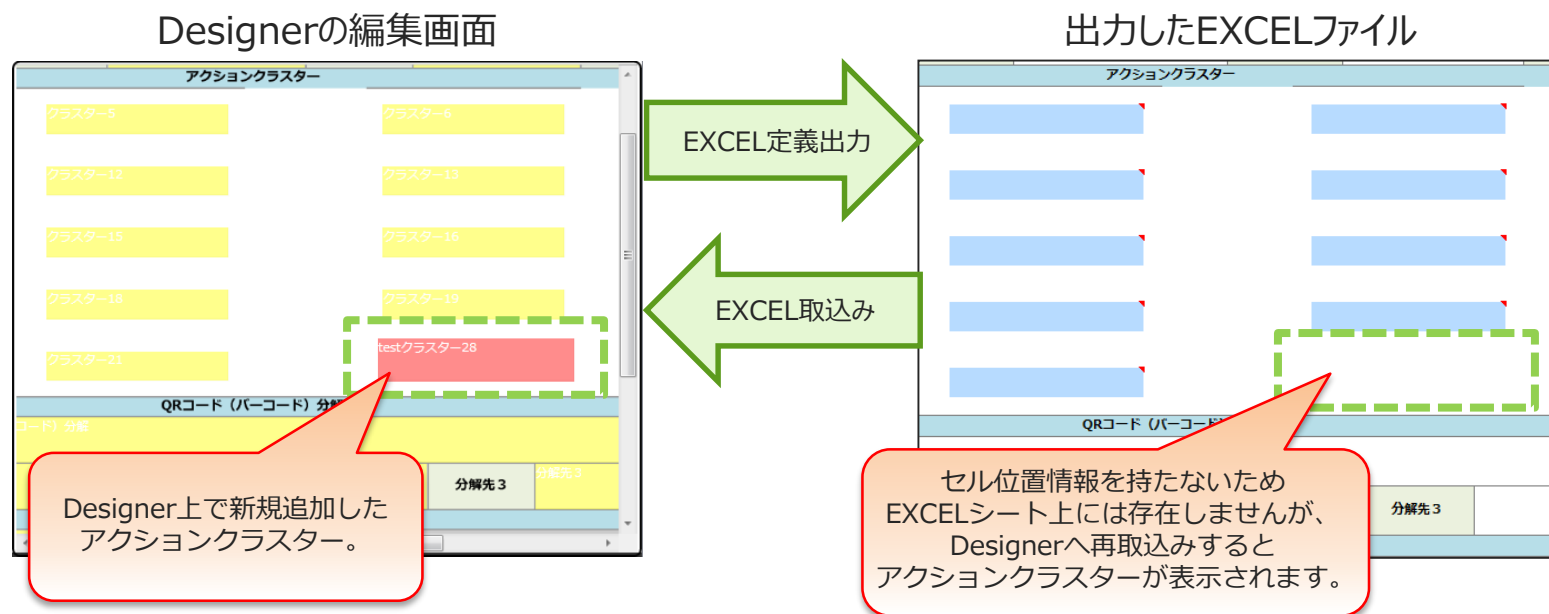
先ほどのアクションクラスターが復活。



EXCEL取込み

8. Designer上で追加したアクションクラスターの再取込み

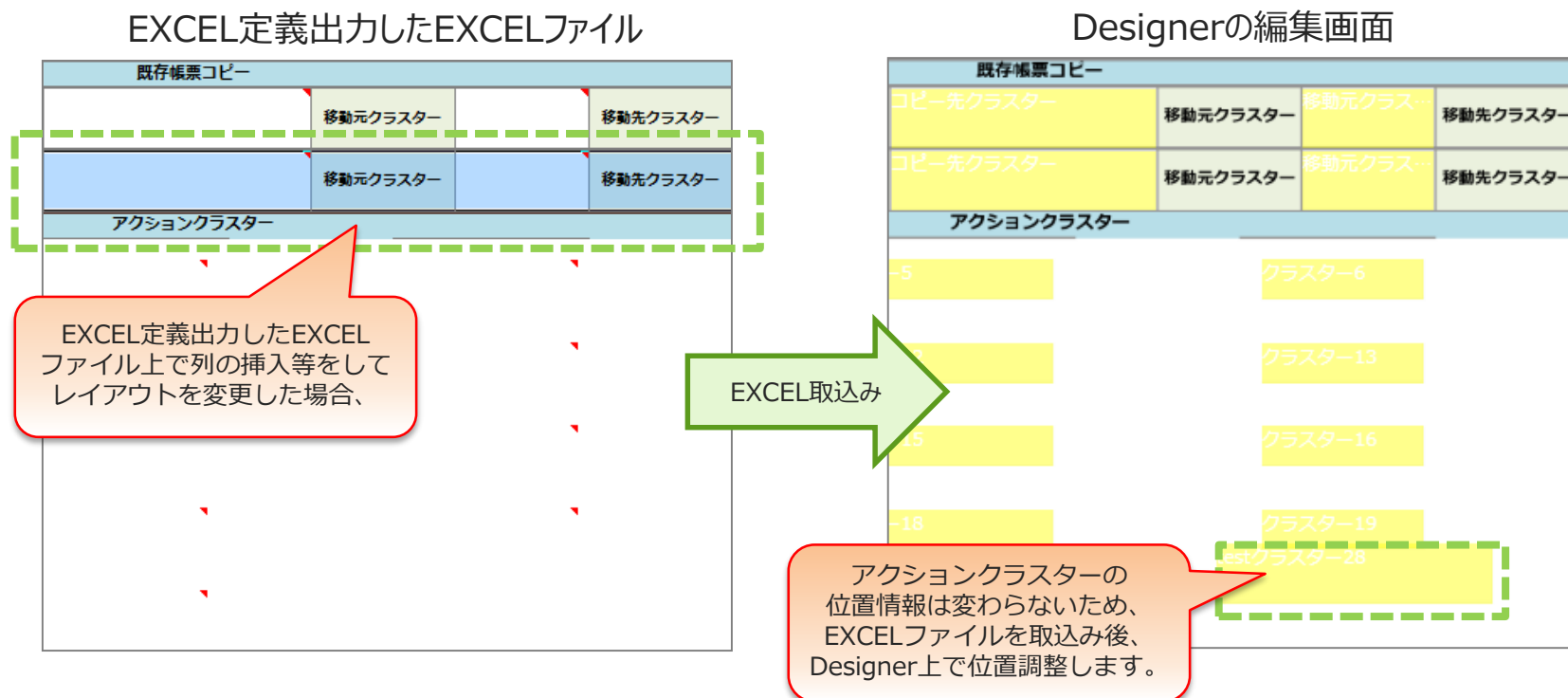
EXCEL取込み後に、Designer上で新規追加したアクションクラスターはセル位置情報を持たないため、EXCEL定義出力したEXCELファイル上のセルへは出力されません。EXCEL定義出力されたアクションクラスターの情報は、出力したEXCELファイル内の「ConMasiReporterSetting」シート内に格納されています。



・Designerへ取込む前のEXCELファイルの時点でセル上にアクションクラスターを設定していた場合は、これまで通りEXCEL定義出力で、該当のセルへコメントとしてクラスター情報が出力されます。

8. Designer上で追加したアクションクラスターの再取込み

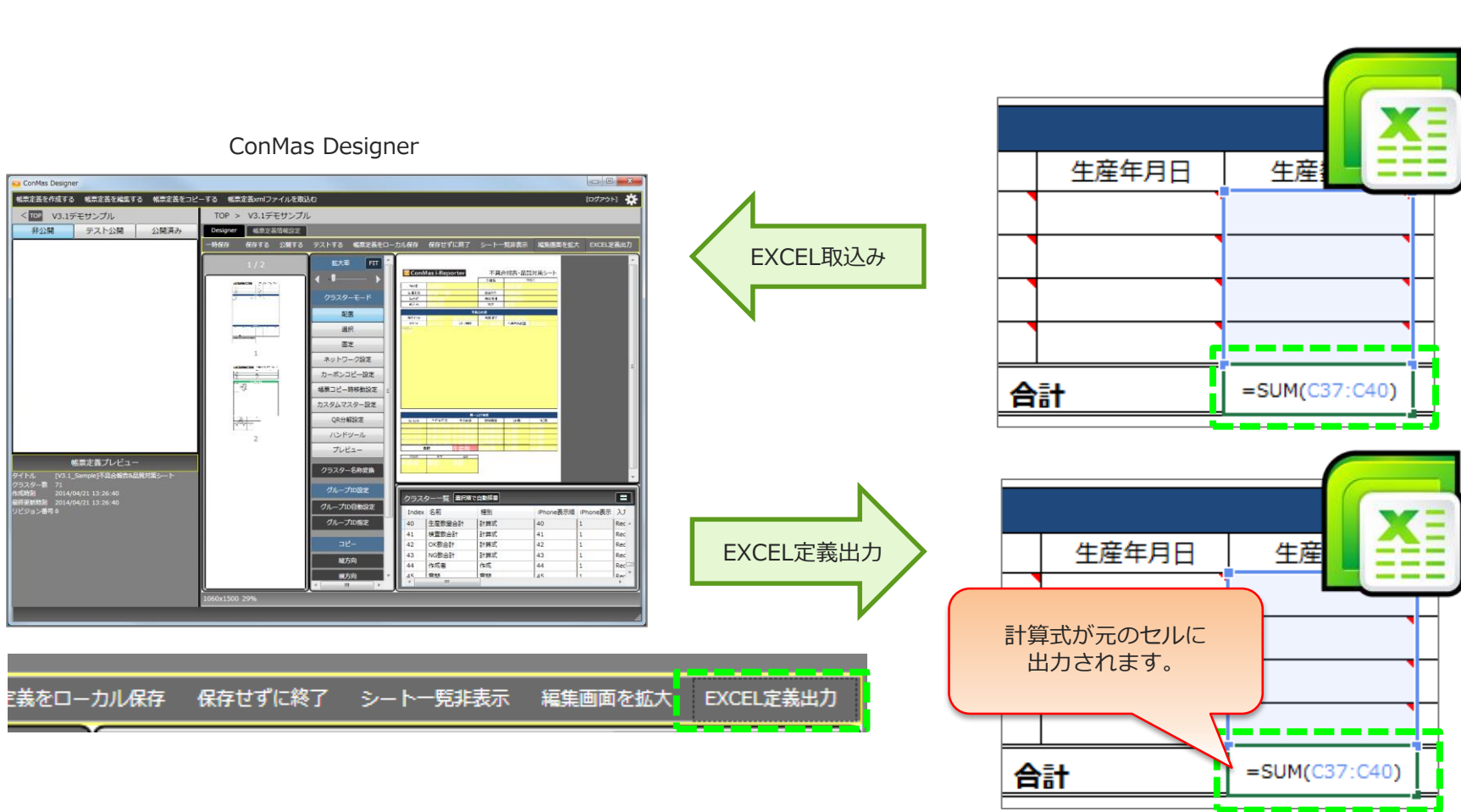
EXCEL定義出力した時点でのDesigner上でのアクションクラスター位置を保持しているため、行・列の挿入や削除、シートのレイアウト変更等を行ってもアクションクラスターの位置は変わりません。Designerへの再取込み後にクラスター位置を調整頂く必要があります。



9. EXCEL定義出力時の計算式出力

NEW
V4.2

EXCELファイルから帳票定義を作成する際に、計算式クラスターに設定したセルにEXCEL関数を使用していた場合、EXCEL定義出力にて出力したEXCELファイル内の元のセルに、計算式を出力するようになりました。



9. EXCEL定義出力時の計算式出力

NEW

V4.2

EXCEL関数を含まない四則演算の場合は、DesignerへEXCEL取り込みした後、計算式の編集が可能となっています。Designer上で四則演算を編集した場合は、その変更内容を反映した上で計算式をEXCELファイルに出力します。

